


審査結果報告書

平成 29 年 1 月 6 日

主 査 氏 名 坂 本 尚 登 

副 査 氏 名 赤 屋 透 

副 査 氏 名 岩 村 正 嗣 

副 査 氏 名 河 内 康 雄 

1. 申請者氏名 : 林 哲範

2. 論文テーマ : 2型糖尿病血液透析患者における HbA1c とグリコアルブミンの意義と透析関連低血糖の頻度の検討

3. 論文審査結果 :

血液透析中の 2 型糖尿病患者は、糖尿病を有さない場合に比し生命予後が悪く、予後改善のためには血糖管理が重要であるとされている。実臨床に於いて、2 型糖尿病患者の血糖評価には HbA1c が汎用されているが、血液透析患者では腎性貧血や赤血球造血刺激因子製剤の影響により血糖管理の状況を過小評価する可能性が指摘されている。一方、グリコアルブミンは血液透析患者における貧血や赤血球造血刺激因子製剤の影響を受けない血糖マーカーとして注目されているが、現在でもこれら血糖マーカーの 2 型糖尿病血液透析患者における正確な意義については明らかでない。申請者は 2 型糖尿病血液透析患者における HbA1c、グリコアルブミンの臨床的意義を解明するために、持続血糖測定器を活用して血糖動態を詳細に解析して評価した結果、HbA1c は腎機能が正常な時に比して低値を示すものの平均血糖を強く反映することを明らかにした。さらに、グリコアルブミンは平均血糖を反映するものの HbA1c よりも正確性は低く、むしろ血糖変動を強く反映するマーカーであることを明らかにした。今回の結果は、日常臨床で用いられている HbA1c、グリコアルブミンはひきつづき有用であるものの、その臨床的意義は、現在、信じられているものとは異なることを示した点が評価され、研究の一部が 2016 年の Journal of Diabetes and Its Complications に掲載されている。公開審査では申請者による発表の後の副査および主査の広範な質問に対して、おおむね適切に回答し学識の高さを示した。副査および主査は学位論文の内容に加えて、質疑応答の適確さから、医学博士の学位に相応しいと判断した。